

2018年度第1回地球科学科FD委員会議事録

1. 開催日時 2018年10月18日(木) 12時30分~55分

2. 場 所 地球科学科閲覧室

3. 参加者

(教員) 高橋、中山、山川、竹内、安井、山中、竹村、村瀬、中尾、金丸、大八木、鶴川
(事務) 太田、井比

4. 議事内容

- (1) 今年度も外部アドバイザー委員による授業評価を実施している。前期は2授業で実施、後期も2授業で実施する予定。
- (2) 4年次担当講義科目は受講生がたいへん少ないので、次期カリキュラムでは検討が必要である。
- (3) 授業の動画撮影や録音について
 - (a) 授業の学生による動画撮影や録音は基本的には認めない。
 - (b) 他大学では講義を積極的に学外にWEB公開する動きもある(参考情報)。
- (4) 講義中の受講生の私語や途中退出に対する対応について
 - (a) 私語は他の受講生の受講を妨げるので、抑える工夫をする。
 - ・私語については学生アンケートにクレームも見られる。
 - ・ガイダンス時に厳しく注意している。
 - ・板書を多くすると私語は減る傾向がある。ただ授業の進行が遅れる弊害もある。
 - (b) 中途退出については、他の学生の迷惑にならなければ、特に注意しない科目もある。
- (5) 双方向授業について
 - (a) 理系の講義科目では、効果的な授業が困難。
 - (b) 実習科目では、双方向で進めることが可能。
- (6) FDアンケートについて
 - (a) 現在の学部によるFDアンケートは無記名で行われている。このためアンケートに書かれている内容と学生の受講実績・態度(学生の層)の間に関連性があるかなどの分析ができない。アンケート結果を効果的に授業改善に活かすには、記名式化が必要。
 - (b) 学部FDアンケートを記名式化するのは現実には困難ではないか。個別授業でアンケートを実施することはできる。
 - (c) 以前はアンケートに見られる学生の意見がバイモーダルだったが、最近は意見が少なくなってきた傾向がある。
- (7) オーディオ・ビデオ装置等の機器が設定されていない講義室があるので、教務課に改善の要望が必要。
- (8) 成績判定の水準を高くすると同じ教員による次期の受講生が極端に少なくなった事例があった。

(以上、文責：鶴川)